

ふるさと大使の皆さまから

メッセージをいただいています

町ふるさと大使より、新型コロナウイルス感染症の影響で、外で遊べない子どもたちや、外出自粛・営業自粛などをされている事業者など、町民の皆さまへメッセージをいただいています。

大使のメッセージは町公式サイト上で掲載していますので、ぜひご覧ください。



【町ふるさと大使】 (掲載順は大使任命順)



きたかわ だいすけ
北川 大介さん
(歌手)



やまざき はじめ
山崎 一さん
(俳優)



わたなべ もとのり
渡辺 元智さん
(元横浜高等学校硬式野球部監督)

問 政策推進課 経営戦略係 ☎(83)1222

西平畑公園のブランコ「スカイスウィング」がお披露目されました



このブランコでは、富士山をバックに、まるで空中でブランコに乗っているような写真を撮影することができます。

西平畑公園に空中ブランコ「スカイスウィング」が登場しました。このブランコは(株)エスアールシー代表取締役の古川達高さんより寄贈いただいたものです。6月6日には寄贈式が執り行われ、ブランコの一番乗りも行われました。

問 観光経済課 公園係 ☎(83)1228

参加者募集 コキア植樹会

昨年好評だった「コキア」の植樹会を今年度も開催します。参加希望の方は、当日現地にお越しください(当日参加可)。

日時 7月5日(日) 午前9時開始
場所 コキアの里(自然館北側の畑。自然館より徒歩5分。詳細は町公式サイトにて)

持ち物 汚れてもよい服装、軍手
主催・問い合わせ 飯田勝宏 ☎090(8871)6464



昨年の植樹の様子

SDGsって、何だろう?



ゴール1 貧困をなくそう

1つ目のゴールは『貧困をなくそう』です。このゴールは、言葉のとおり「2030年までにあらゆる形態の貧困に終止符を打つ」ことを目標としており、7つのターゲットが掲げられています。

世界では、全人口の11%に当たる7億を超える人たちが、極度の貧困の中で暮らしています。「貧困」という言葉を聞くと、「日本にはあまり関係ないじゃないか」と思われる方もいるかもしれません。

私たちの福祉はお互いにつながっており、不平等が広がれば経済成長に悪影響が及び、情勢不安や紛争の原因になります。

また、日本の実に7人に1人の子どもが貧困状態にあるといわれています(日本における「子どもの貧困」とは「相対的貧困(国や地域の水準の大多数よりも貧しい状態)」のことを指します)。

1億6,700万人の子どもが極度の貧困の中で暮らすことに

このまま、私たちが、世界が、健康と教育の改善に向けた行動を取らなければ、2030年までに1億6,700万人の子どもが極度の貧困の中で暮らすことになると言われてしています。

まずは、現状を知り、私たちに何が出来るのか、自分ごととして考えるところから始めてみませんか。

参考:国際連合広報センター 日本財団

問 政策推進課 経営戦略係 ☎(83)1222



カメラリポート

100歳おめでとう



5月21日、100歳の長寿をお祝いするため、中村芳江さん(河内自治会)を町長が訪問しました。いつまでもお元気にお過ごしください。



自治会長連絡協議会より、足柄上病院へ一番茶や消毒液、スープ類などを差し入れしました。地域からの支援に対し、病院からも謝意を示されました。



勝広道場より、松田町立幼稚園の園児と先生へ、道場に通う子どもたちの保護者が手作りしたマスクが寄贈されました。



ホッケー女子日本代表候補の小野真由美選手が来庁され、ホッケー競技の魅力や普及啓発などについて、町長と意見交換を行いました。



(一社)足柄建設業協会より、新型コロナウイルス感染症防止対策に対する支援金として、加盟事業者より集めていただいた5万円を寄附いただきました。



酒匂川の鮎釣りが今年も解禁されました。酒匂川では、初日から釣果を求め、多くの方が釣りを楽しんでいました。



町で用意した医療用ガウン2,000着を、NPO法人アシガラパートナーズを通して足柄上病院へ寄贈しました。こちらはふるさと納税による寄附を活用しています。



町商工青年会の皆さんが、西平畑公園内のハーブガーデンのボランティアに参加し、ガーデン内の雑草や石を取り除いてくださいました。